

年間授業計画

高等学校 令和7年度（3学年用）教科

地理歴史 科目 日本史探究

教科：地理歴史

科目：日本史探究

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（山川出版社 日本史探究 高校日本史

教科 地理歴史

【知識及び技能】

の目標：
現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる。

【思考力、判断力、表現力等】

地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする。

【学びに向かう力、人間性等】

地理や歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする。

科目 日本史探究

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	感	配当 時数	
1 学 期	<p>原始・古代の日本と東アジア</p> <p>【知識・技能】 原始・古代の諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら理解しているとともに、諸資料から日本の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけさせる。</p> <p>【思考・判断・表現】 原始・古代の事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察し、課題を把握して説明、議論する力を養う。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 原始・古代の諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養い、多面的・多角的な考察や深い理解により自国の歴史への愛情、他国の文化を尊重する精神などを深めさせる。</p>	<p>第一章 日本文化のあけぼの</p> <p>第二章 古墳とヤマト政権</p> <p>第三章 律令国家の形成</p> <p>第四章 貴族政治の展開</p> <p>・教材 教科書「山川出版社 日本史探究 高校日本史」 資料集「第一学習社 最新日本史図表2025」</p>	<p>【知識・技能】 原始・古代の諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら理解しているとともに、諸資料から日本の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。</p> <p>【思考・判断・表現】 原始・古代の事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察し、課題を把握して説明、議論する力を養う。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 原始・古代の諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養い、多面的・多角的な考察や深い理解により自国の歴史への愛情、他国の文化を尊重する精神などを深める。</p>	○	○	○	14	
	定期考査				○	○		1
	<p>中世の日本と世界</p> <p>【知識・技能】 中世の諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら理解しているとともに、諸資料から日本の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけさせる。</p> <p>【思考・判断・表現】 中世の事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察し、課題を把握して説明、議論する力を養う。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 中世の諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養い、多面的・多角的な考察や深い理解により自国の歴史への愛情、他国の文化を尊重する精神などを深めさせる。</p>	<p>第五章 院政と武士の進出</p> <p>第六章 武家政権の成立</p> <p>第七章 武家社会の成長</p> <p>・教材 教科書「山川出版社 日本史探究 高校日本史」 資料集「第一学習社 最新日本史図表2025」</p>	<p>【知識・技能】 中世の諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら理解しているとともに、諸資料から日本の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。</p> <p>【思考・判断・表現】 中世の事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察し、課題を把握して説明、議論する力を養う。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 中世の諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養い、多面的・多角的な考察や深い理解により自国の歴史への愛情、他国の文化を尊重する精神などを深める。</p>	○	○	○	14	
定期考査				○	○		1	
	<p>近世の日本と世界</p> <p>【知識・技能】 近世の諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら理解しているとともに、諸資料から日本の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけさせる。</p> <p>【思考・判断・表現】 近世の事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察し、課題を把握して説明、議論する力を養う。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 近世の諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養い、多面的・多角的な考察や深い理解により自国の歴史への愛情、他国の文化を尊重する精神などを深めさせる。</p>	<p>第八章 近世の幕開け</p> <p>第九章 幕藩体制の成立と展開</p> <p>第十章 幕藩体制の動揺</p> <p>・教材 教科書「山川出版社 日本史探究 高校日本史」 資料集「第一学習社 最新日本史図表2025」</p>	<p>【知識・技能】 近世の諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら理解しているとともに、諸資料から日本の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。</p> <p>【思考・判断・表現】 近世の事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察し、課題を把握して説明、議論する力を養う。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 近世の諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養い、多面的・多角的な考察や深い理解により自国の歴史への愛情、他国の文化を尊重する精神などを深める。</p>	○	○	○	14	
定期考査				○	○		1	
	<p>近代の日本と世界</p> <p>【知識・技能】 近代の諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら理解しているとともに、諸資料から日本の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。</p>	<p>第十一章 近代から近代へ</p> <p>第十二章 近代国家の成立</p> <p>第十三章 近代国家の展開と国際関係</p> <p>第十四章 近代の産業と生活</p> <p>・教材</p>	<p>【知識・技能】 近代の諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら理解しているとともに、諸資料から日本の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。</p>					

